

Genoß

山梨大学生生活協同組合

大学生協運動の

大先輩た



大学生協連第12回

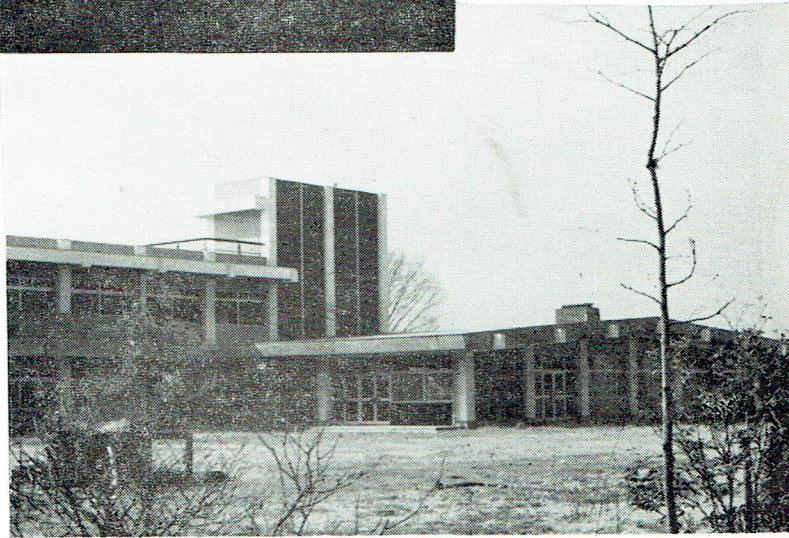
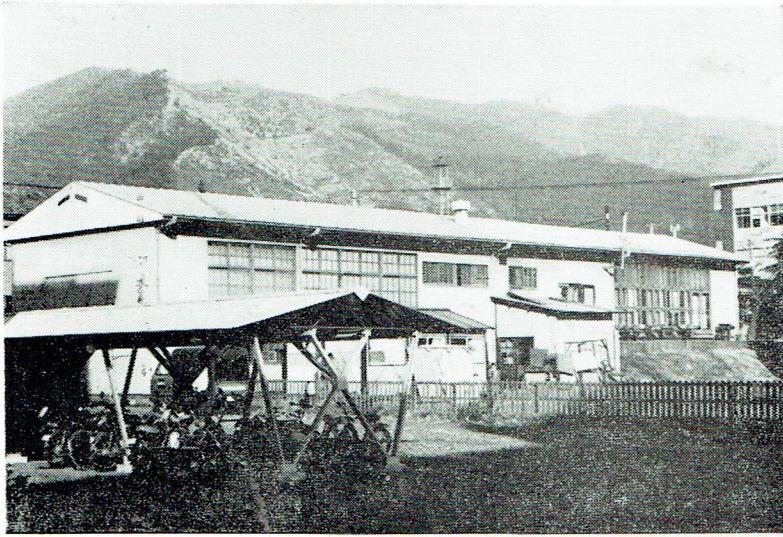


広そうに見えるが……

狭い狭いせまーい

生協小館

生協会館南側



学生会館

開かれざる

台閣

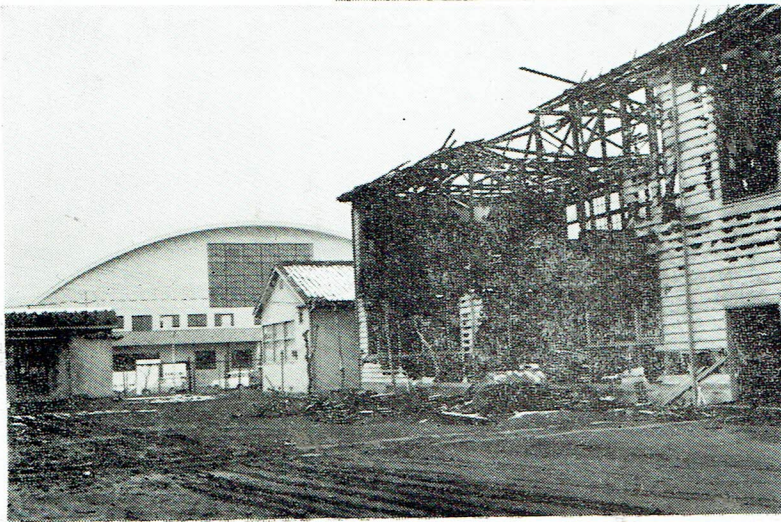


一月事件

この火事は

決してたんなる家事

でなかつた





よりよき生活と 平和のために

目次

新しい組合員を迎えるにあたって……	2
全国大学生協連会長あいさつ……	3
あたらしいなまへ……	4
学び・教え・そして愛せ……	5
生協理論——生活を守る組織……	6
梨大生協のあゆみ……	14
学生会館……	15
生協センター……	16
文化部案内……	17
梨大生協の機構・組織……	18
食堂部案内……	19
食品部案内……	20
書籍部案内……	21
購買部案内……	22
商品案内……	23
読書案内……	26
「ビールと、豚と、ドイツ語」……	28
劉さんのこと……	29
甲府と山、ヤマ、やま、アル記……	30
喫茶店案内……	33
山梨大学生協同組合定款……	35

梨大生協の

あゆみと課題

— 創立とその背景 —

一九五〇年、朝鮮動乱勃発。この時期は戦後の日本独占資本主義体制が、アメリカ帝国主義の力を背景としながら、新たに復活し始めた時期でした。一九五一年には、対日講和条約、日米安保条約の締結が行なわれ、アメリカ自身の国際的政治経済支配のために、対米従属を確約。この時期の急速に進められた反動化は、民主化の剝奪、弾圧となってあらわれ、レッドバージ、イーズル派遣、国家公務員法、警察予備隊の結成が行なわれました。一九五三年に入ると、大学の自治を守る運動に対するメスが加えられ、京大事件、第一、第二東大ボボロ事件、破防法スト、血のメーデー等、矢つぎばやにおびやかされました。しかし学生運動は平和を守る斗いに集中的となり、斗う体制の進展を見ました。大学生協も経済的危機にぶつかりながらも一定の前進をしました。

こう云ったきびしい情勢を反映して、梨大も教職員を中心とした消費生活の自衛活動が始まり、ついに一九五三年、生協が創立され、文房具、衣類、食品、食堂の運営が始められました。

更に、一九五四年には、より生協を本質的に発展させてゆくために、法人格の取得が急務であることが第九回大会にお

いて強調され、その「法人化」斗争の環境として、梨大生協も法人格を取得しました。

しかし、学生を主体としなかった生協は、その保守性を露呈し、生協を生協の理念たらしめるには至らず、途中から厚生課の下で運営を十年近く続けて来たのでした。一九五五年以後の大学生協運動の第二高揚期とはうらはらに、ほとんど生協運動を離れてしまったのです。

— 生協を学生の手 —

一九六五年十一月、学生教職員は一体となって立ち上がり、自からの手によって第一回臨時総代会を成功させました。

厚生課の下から離れ、学生への単なるサービスマシナリから脱却し、運動体に向けて、多くの経営的弱点が改善された時期でした。

一九六六年には、購買部の改善と教科書の取扱いを行いました。

一九六七年、書籍部を設置。

一九六八年には、喫茶部をなくし、書籍部の拡大改裝を行ないました。

又、同年度は、組合員の要求にもとづかない極左運動を克服し、生協の大衆化を打ち出した年でした。十二月、生協を学内の厚生福利団体として正式に大学側に認めさせ、予算要求の保障を勝ち取りました。一方、供給高も飛躍的に伸び、

多くの組合員の結集を得て来ています。

— 七〇年代の 斗いはいかに —

ここ数年の生協の大衆化、業務体制の確立への努力は、供給高の飛躍的な伸びとして現われたが、店舗、食堂等の諸施設が応じ切れなくなっており、その抜本的な拡大が極めて緊急な課題として上っています。学生会館の早期開館、生協センター設立の運動を、生協の独自の要求をかかえて、大衆的に取り組む必要があると云えます。

一方、日米共同声明と前後して、太学法、中教審答申等の七〇年代の動向にかかわる重大な事態に直面している時期が現在であり、その現状に対して、学生運動と、消費者運動の両面に及ぶ大学生協の大衆的性格と先進的性格を如何に歴史の躍動の中にエネルギーとして注ぎ込むか?の課題に私達は直面しているのです。

必要なのは悲観でもなく樂觀でもなく大きく歴史を展望しつつ、大担に現実に取り組む中で「よりよき生活と平和のために」の団結の力を創り上げていくことなのです。



堂の運営が始められました。更に、一九五四年には、より生協を本質的に発展させてゆくために、法人格の取得が急務であることが第九回大会にお

を打ち出した年でした。十二月、生協を学内の厚生福利団体として正式に大学側に認めさせ、予算要求の保障を勝ち取りました。一方、供給高も飛躍的に伸び、

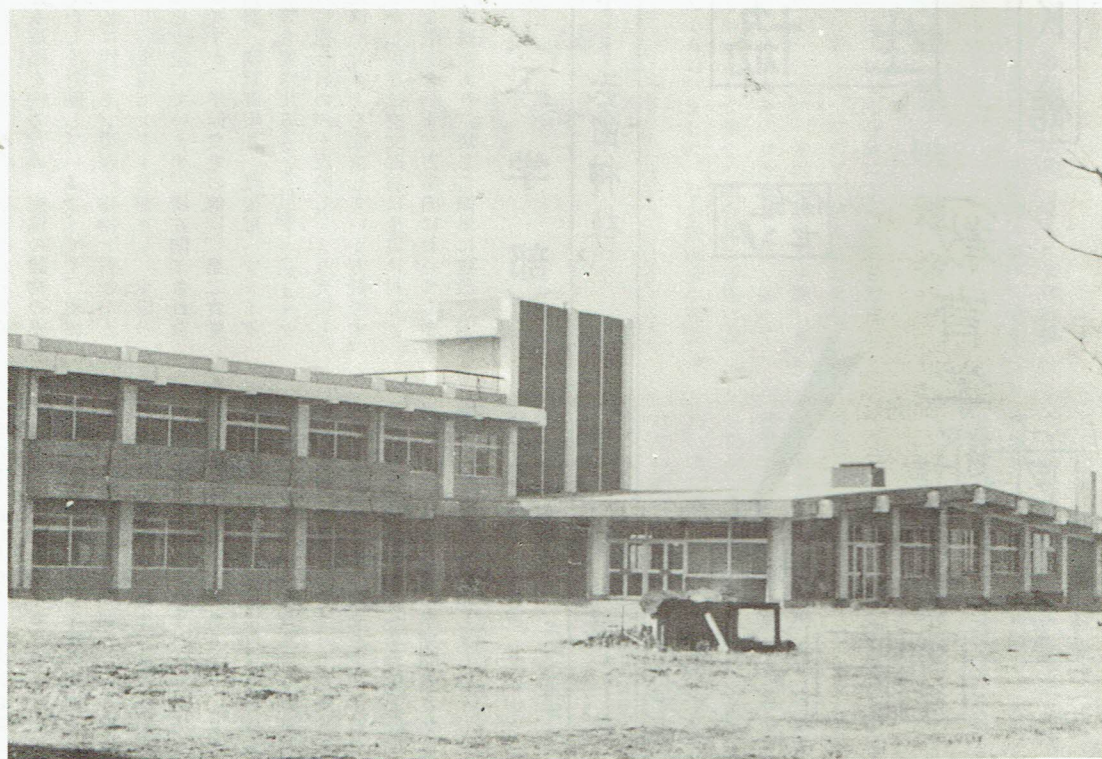
学生会館の

早期開館を!!

山梨大学学生会館は先輩の切実な要求と努力が実って、今から三年前、六七年五月に完成しました。しかし規約に関して学生と大学側との意見の一致を見ず、一度も使われないまま放置されています。現在学生側は学生案を、大学側は学生部案をそれぞれ持っているが、その争点は学生の運営への参加権を保障するか否かにある。一昨年度十二月の学館討論会、全国各地の大学民主化の闘いはすでに学生の運営参加権を当然のこととしている。山梨大学学生会館はいまだに開館の日のめを見ないが、本年度早々にも、新入生を含めた民主的早期開館を望むすべての勢力が団結し、開館を実現しなければならぬ。

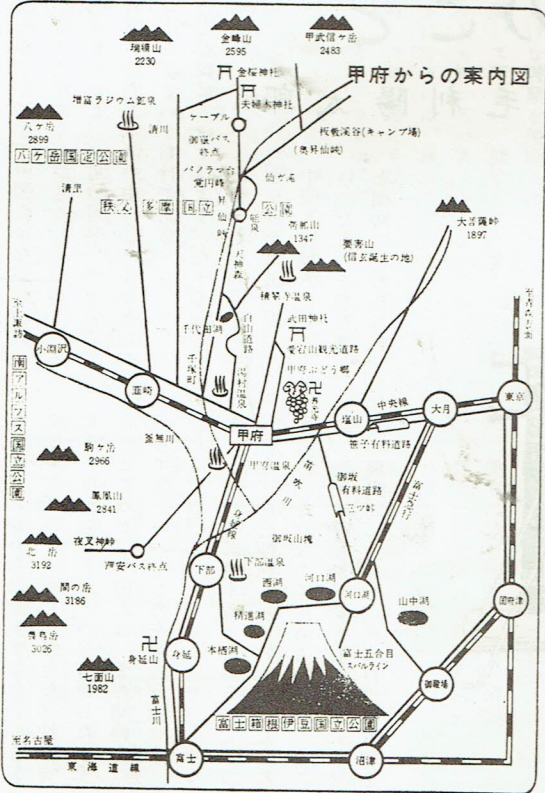
新入生もまず最初に気がつくことと思

かありません。しかし、あの学生会館には現在の二倍もある大きな食堂があります。さらにゆつくりと話し合え、喫茶にも使えるラウンジ、たぐさんの集会室、文化活動の中心ともなるべき大集会室があります。私たちはこの殺伐としたキャムパスの中で、一つでもゆつくりと話し合える場所がなければなりません。生協は学内において唯一学生と教職員の厚生福利に寄与する団体です。学生会館に關してもこのような立場から、すでに生協ニュースで発表しましたような方針を持つて学生会館の開館に努力しています。生協は学生会館に關してもまた独自の要求をもっています。生協食堂の学生会館入館を実現すること、水熱費、移転費、内部施設費等を国庫負担にし、学生教職員の生活の向上に寄与しなければなりません。生協がこのように、受益者負担を撤廃し、完全国庫負担を実現するよう要求することは、大学人の生活向上と共に教育の機会均等化、不明朗で貧困な大学予算制度を正常化する意味でも極めて重要な課題です。しかし、これに対し政府文部省は極めて反動的な生協弾圧政策を行い、生協の学生会館に敵対し、受益者負担の押しつけ、さらには教育大に見られるような直接的な弾圧を行っています。生協はこのような弾圧と闘いつつ、学生会館を平和と民主主義をつちかう場と位置づけ、開館に努力したいと思



甲府 山やま ぶら 記

A MAP OF KOFU



甲府は盆地である。いわば、すりばちの底の町である。四辺皆山である。まちを歩いて、ふと顔をあげると、山である。銀座通りという賑やかな美しいまちがある。堂々のデパートがある。道玄坂を歩いている気持である。けれども、ふと顔をあげると、山である。へんに悲しい。右へ行っても、左へ行っても、東へ行っても、西へ行っても、ふと顔をあげると、持ちかまえていたように山脈。すりばちの底に、小さい旗を立てた、それが甲府だと、思えば、間違いない。

太宰治

人口、一八万余人、まさに山梨県の政治、経済、文化の中心の都市甲府は、今では観光都市として、繁栄している。秋のブドウシーズンを中心に、たくさん観光客の訪れる所である。太宰治や井伏鱒二が好んだ土地らしく、郷土色の強い素朴な明るさを持っている。だが一面郷土色の強さの中にある、封建的なもの甲州商人に代表される、がめつさも残している。しかしそれらは、異常なほどの郷土愛の裏がえしなのかもしれない。そして、資源のない土地での生存競争、あるいは、相互扶助の歴史が、甲州人として戦略家、内政家として戦乱の世に活躍した武田信玄の魅了される生涯をつくたのであろうか。

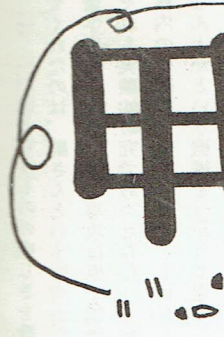
甲府から見る山々。決して雄大な、ス

生協スキー教室でおなじみの

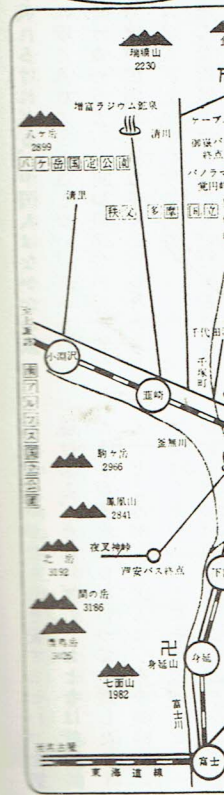
大学生協
指定

宿はちよん

白馬高原 神城スキー場・1泊2食付 ¥800



A MAP OF KOFU

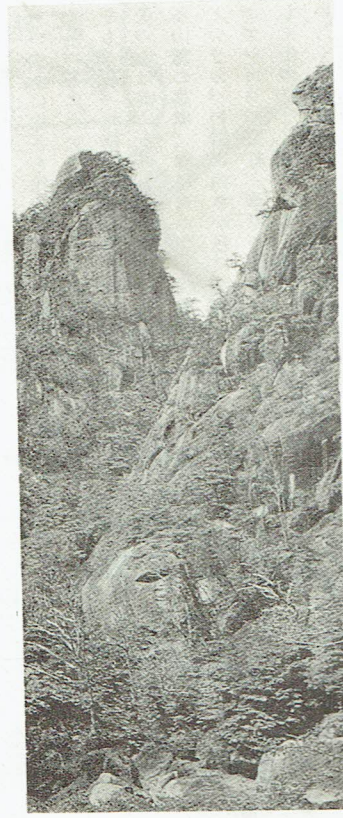


生協
大学生協
指

カッとするような景色ではない。山々は甲府に暗さを与える。が、すりばちの底である。もし甲州人に暗さがあるとしたら、動揺している時の暗さとはまた異質のものである。

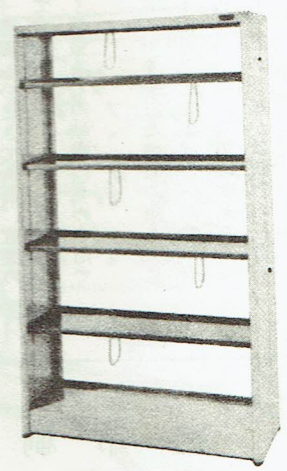
今の甲府は少しずつ観光都市に向けて脱皮しつつある。この道がすりばちの底の安定を保つものであるか否かは知らない。が、良きなつかしき古さを残すものでなくては郷土愛を生かすことが出来な

いであろう。
話は変わるが、甲府は盆地のためか夏は無風で極めてあつく、冬は単に寒い、と
いうより冷たく寒い。コタツだけではすまない程である。学生の中には、ひと冬三、四回かぜをいただいた人がいる。又、甲府は、雨が多いのは、ことまれな方でたいていは、朝降ると夕方にはやんでしま



まうのが特徴である。
甲府は観光の町らしく、有名な景勝地をもっている。それは昇仙峡である。盆地に入ろうとする荒川の上流部分である。花崗岩の切り立った断崖の間をぬって流れる溪流。風化した白砂で奔流する透明な水の流れは、探動する人々に飛沫をなげかける。初夏の緑、秋の紅葉ともに見事なものである。更に昇仙峡の奥には、高さ40メートルの三段の滝で有名な板敷溪谷がある。他には、武田信玄をまつた武田神社がある。毎年、諸君の入学する頃、四月十二日に「信玄祭り」が行なわれ、この日は山本勘助など武田二十四将の武者行列があり、市内はごったがえすほどのにぎわいである。
また、信玄が川中島の戦いで、信州善光寺が戦火にあうのを心配して如来像を移したと伝えられている。甲府の善光寺などがある。
こういったところが甲府の主な名所だが、入学そうそう甲府めぐりもいけれど喫茶店、パチンコ店めぐりだけに終らぬよう気をつけてくれ。

この、使いやすさ・デザインを、お選びください



米 山 家 具 店

甲府市丸の内3丁目(平和通)TEL(24)3565

山の季節が始まった。四辺の県界にかすかに白さを残している山梨の山々

北西の方に八ヶ岳が、富士の中腹から上をもぎ取った格好をして横たわっている。この山は実にいい山だ。果てしなく広がる山麓の高原、春は青い空と残雪の峰々とシラカバの幹の白さが目に浮かぶ。レンゲツツジの真紅、草原の新しい緑、そして山の鳥たちのさえずり、いかにもせいたくな私達の広い大きな庭。ああ、ノもしも諸君！ここに二人で行けたなら……ここには人生の露地なんでもは存在しないんだよ。



極めて神聖になるけども）巨大なる男根が衝立っているかのように見えるので、昔から特に女性を魅了して来たそう。即ち、この棒状の尖峰（高さ六〇m）を信仰の対象となし妊娠を願う女性がこの岩峰に触れば、勿ちにして靈感が伝わり子宝が授かるそうである。こんな訳で、南アルプスの中では、入門の山として最もポピュラーであり、特に女性の人達に多

山は南アルプスの前衛で、鳳凰山、御所山、鈴嵐山を結ぶ要衝。スズラン・ツツジ・アツモリソウ・ワラビ・センマイ等の群落地である。冬は全山が白雪におおわれ一面のスキー場と化し、冬山登山とアルペンスキーを両立でき云々と書かれている。冬に関する部分は、幾分PR過剰を感じるが、5月末のツツジ、6月上旬のスズランの咲き乱れるころは、

く愛されている山だ。

登口としては、夜叉神峠からと、ドンドコ沢から、甘利山から、甲斐駒から等があるが、どのコースも登山道は明確である。

▼入笠山、守屋山と並んで南アルプス前衛のベストスリーといわれるものに甘利（あまり）山がある。頂上まで一五分のところにある広河原の案内板には「甘利

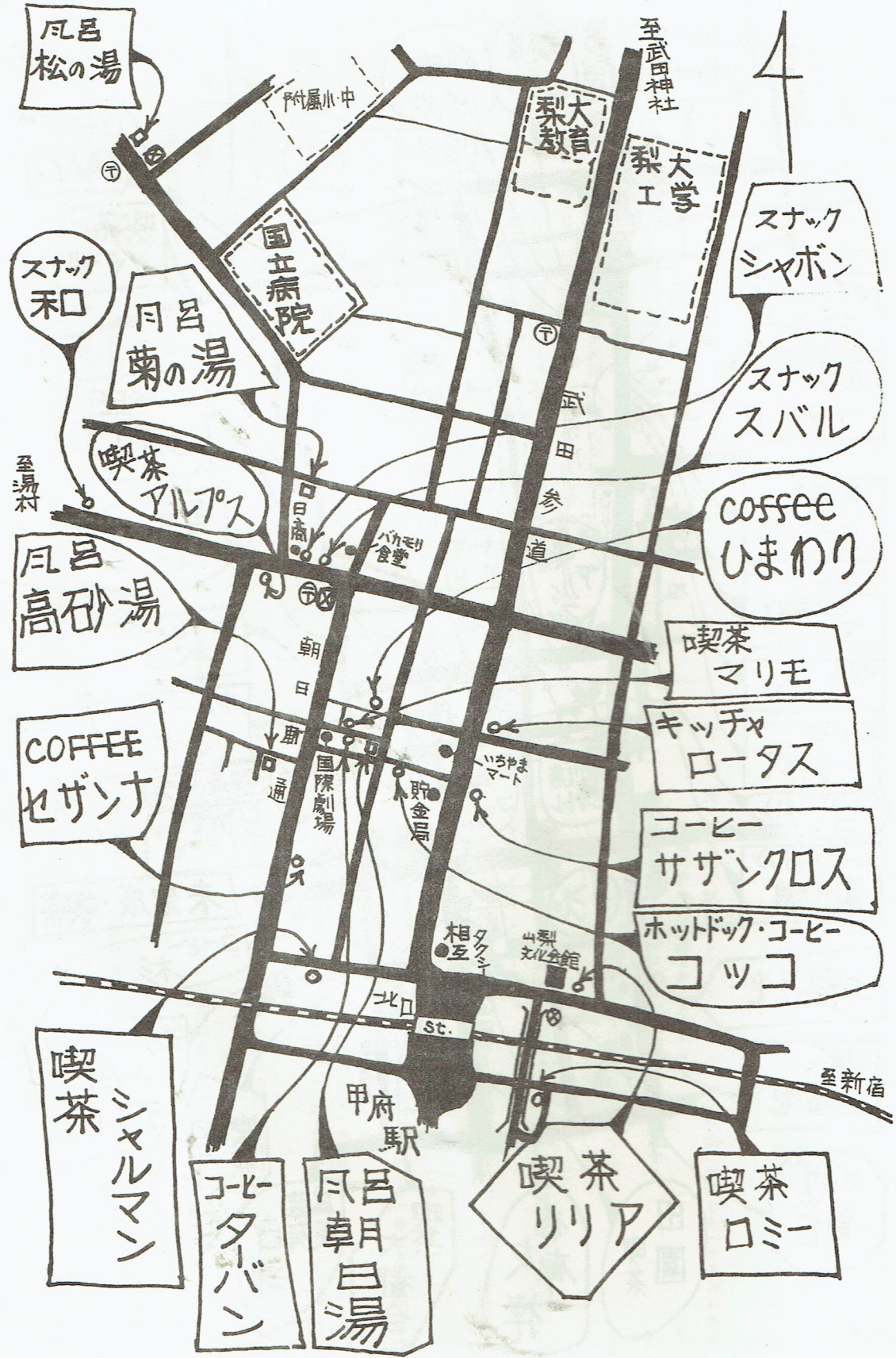
この山の一番美しいときである。紅葉の10月も捨てがたい。コースも一般的で、歩きやすく展望よしの結構つくめの山である。

▼以上、ノルマを果たした諸君の頭と手足をうるおす山を二、三上げた。が他に紹介したい山があった。この紙面足らずは如何ともしがたい。ほかは諸君の好奇と趣味にまかせよう。

印刷 軽

共同プリント社

青沼一丁目 8-5
TEL (33) 9556



技術的に困難なところも少なく、通年営業に近い山小屋を二つ持っていることであらう。この風凰三山の中で地蔵岳は一風変わったものを持っている。というのは、地蔵岳は小さく槍のように先がとがっているが、その尖峰の形体が（

があるが、どのコースも登山道は明確である。▼入笠山、守屋山と並んで南アルプス前衛のベストスリーといわれるものに甘利（あまり）山がある。頂上まで一五分のところにある広河原の案内板には「甘利

ある。▼以上、ノルマを果たした諸君の頭と手足をうるおす山を二、三上げた。が他に紹介したい山があった。この紙面足らずは如何ともしがたい。ほかは諸君の好きと趣味にまかせよう。

軽 印

= CO • OP =

YAMANASHI UNIVERSTAT KOOPERATIV-GNOSENSCHAFT